岐阜県合同輸血療法委員会の活動概要

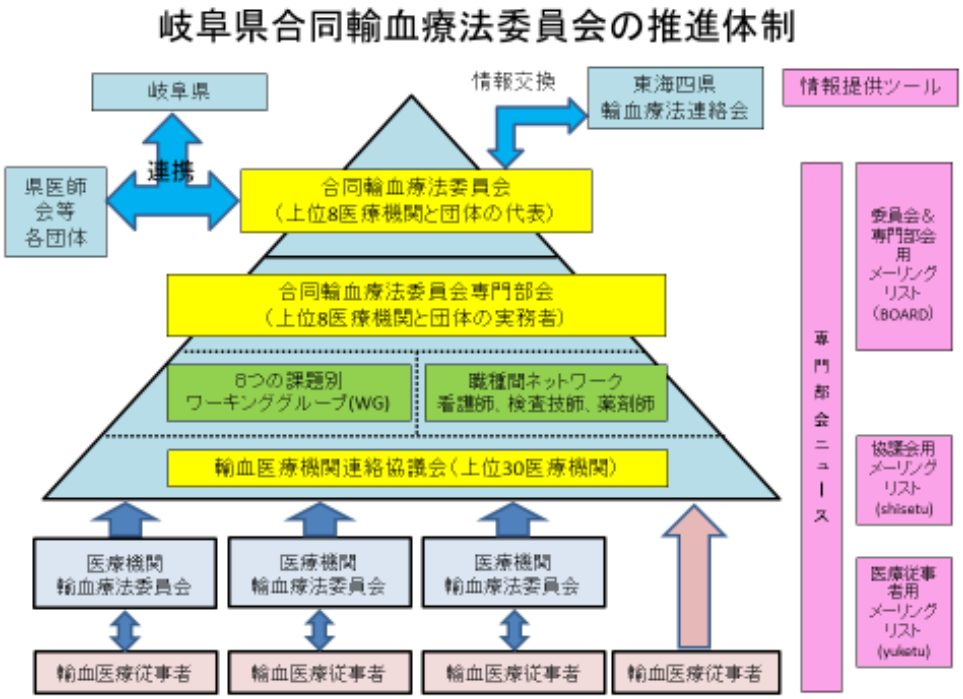
岐阜県合同輸血療法委員会は、平成 12 年度から毎年開催された「岐阜県血液製剤使用適正化懇談会」を発展的に解消し、県内の医療機関における血液製剤の使用適正化を推進することを目的として、平成 24 年度に発足しました。

当委員会は、血液使用量が上位の医療機関、岐阜県医師会、岐阜県薬剤師会、岐阜県臨床検査技師会から推薦を受けた者及び岐阜県赤十字血液センター所長等で構成され、血液製剤の使用適正化に向けた活動を行っています。

1　委員会の組織体制　（図 1 参照）

委員会	委員長	小杉　浩史　大垣市民病院　血液内科部長
	委　員	・血液製剤使用量上位 8 医療機関の代表 （輸血療法委員会から推薦された者） ・県医師会、県薬剤師会及び県臨床検査技師会から推薦された者 ・岐阜県赤十字血液センター所長 ・その他　計 12 名（委員長を含む）
	事務局	岐阜県健康福祉部薬務水道課
専門部会	部会長	小杉　浩史　大垣市民病院　血液内科部長
	事務局	岐阜県赤十字血液センター

図 1



２ 委員会の特徴

専門部会活動や輸血療法機関連絡協議会活動を、最終的に専門部会報告としてとりまとめ、毎年１回の合同輸血療法委員会において、年度内の活動を総括し、次年度の活動の方向性を協議して、血液製剤の適正化に向けた活動を推進しています。

（１）岐阜県合同輸血療法委員会専門部会

委員会構成団体から実務を担う医療関係者が参加し、年に５回程度の会合を重ね、実質的に推進方策を実行しています。

専門部会員には、委員の多くが参加していますが、さらに各医療機関から医師、看護師、検査技師、薬剤師の各職種が数多く参加しています。

専門部会では、課題ごとのワーキンググループ（ＷＧ）を設置し、医療現場との情報共有や関係者の意見交換を重視した活動を展開しています。

また、臨床検査技師、看護師、薬剤師の各職種ネットワークの形成において中心的な役割を担っています。

（２）岐阜県輸血医療機関連絡協議会

血液製剤使用量上位 30 医療機関が参加して、専門部会活動を報告し議論を行う年１回の協議会を開催しています。各院内の輸血療法委員会委員長、輸血部門責任医師、輸血担当臨床検査技師のメーリングリストを作成し、メールによる情報交換も行っています。

（３）情報共有・情報提供の体制

メーリングリストを構築し、専門部会内や輸血医療機関連絡協議会内での情報交換、さらに専門部会ニュースや各種研修債の開催情報など、輸血医療従事者に向けた情報提供を実施しています。

（４）輸血療法連絡会（東海地区）

平成 25 年度から開催されている「輸血療法連絡会（東海地区）」（愛知・岐阜・三重・静岡）に当委員会も参加し、各県の合同輸血療法委員会活動の情報交換や意見交換を行っています。

３ 令和4年度活動概要

（1）血液製剤の適正使用に関する指標の設定

各医療機関における管理体制の評価として 6 項目、適正使用の指標として 2 項目をアウトカム指標として設定し、各血液製剤使用量上位 30 医療機関へのアンケート調査結果から経時的に状況を把握しています。（図２参照）

図２

血液製剤の適正使用に関する指標

		指標項目	H30	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
各医療機関における管理体制の評価	組織体制の整備	責任医師任命率	97%（29／30）	100%（30／30）	100%（30／30）	100%（30／30）	93%（28／30）
		輸血管理料取得率	90%（27／30）	87%（26／30）	87%（26／30）	93%（28／30）	87%（26／30）
		輸血療法委員会開催回数達成率	100%（30／30）	97%（29／30）	97%（29／30）	97%（29／30）	93%（28／30）
	積極的な取組	学会I＆A自己評価率	100%（30／30）	100%（30／30）	100%（30／30）	100%（30／30）	100%（30／30）
		学会I＆A認証取得率	23%（7／30）	27%（8／30）	27%（8／30）	30%（9／30）	27%（8／30）
		認定資格保有臨床検査技師設置率	37%（11／30）	37%（11／30）	30%（9／30）	30%（9／30）	33%（10／30）
適正使用の指標		○病院機能分類別血液製剤使用量 90%超使用施設数	30%（9/30）	33%（10/30）	30%（9/30）	30%（9/30）	36．7%（11/30）
		○血液製剤廃棄の抑制	赤血球製剤廃棄率 1.65%	赤血球製剤廃棄率 1.75%	赤血球製剤廃棄率 1.80%	赤血球製剤廃棄率 1.65%	赤血球製剤廃棄率 0.97%

血液製剤使用量上位30医療機関へのアンケート調査結果から経年的に状況を把握

（2）専門部会での活動

専門部会内に、以下のワーキンググループ（WG）を設置し活動を進め、活動報告は、令和５年２月 17 日に開催した委員会で行いました。

WG	作業部会のテーマ	活動内容
1	実態調査	・岐阜県アンケート調査の解析 ・学会アンケートと岐阜県アンケートの突合解析 ・COVID-19影響下での輸血製剤の需給調査の実施
2	普及啓発及び情報交換の場の育成	・輸血医療機関連絡協議会の開催 ・看護師ネットワーク、薬剤師ネットワークの形成推進 ・Ｉ＆Ａ認証取得の推進
3	モデル的な施設事例の収集及び紹介	・病院視察（Web研修会の方法を検討）
4	小規模医療機関のニーズ把握	・アンケート結果を踏まえた対策等の検討
5	定期刊行物（普及啓発メディアの確立）	・専門部会ニュースの発行（年２回）
6	県内輸血検査技師育成方法論の確立	・輸血検査実技研修会の開催
7	学術企画	・岐阜県輸血療法講演会への企画参加
8	標準ツールの開発等	・厚労省指針改版に伴う既存標準ツールの見直し
9	その他	・医療機関の輸血療法委員会へのオブザーバー参加・助言支援（Web会議を検討） ・I&A受審施設の拡大およびI&A受審支援対策